25 journal society&business Tokyo25 journal
執筆協力 編集室システムU　okamura.nobuyoshi@gmail.com

ザ・地元の職人

住宅など建設業界は高齢化と、若年層の就労の低さが課題となっている。長期不況の影響もあり、若者から敬遠されがちな施工職人の確保は大きな課題だ。それでも西多摩、昭島にはしっかり人材がいる。父子で、兄弟で、日本の家づくりを担っている。職人たちを取りまとめる須崎土建（青梅市大門）の須崎芳広社長は「人手、建築資材、設備などをそろえるのが難しい状況が続いている。地元に信頼できる職人がいることは心強いこと。安心して任せて欲しい」と話している。問い合わせは0428（31）1432同土建まで。

（岡村信良）

大工　吉川太郎さん、正さん父子

モットーは「ひたすら仕事」

息の合った作業で工事を進める吉川さん父子

父子で昔ながらの職人気質を持ち、大工仕事を生業にするのがあきる野市瀬戸岡の吉川建築。モットーは「ひたすら仕事」と一言。

職人仲間から「親方」と親しまれるのが、父親の吉川太郎さん（80）。この道65年。幾分腰が曲がっていても難なく梯子を上る。中学を出て7年修行。かんな削りも板につき一人前と認められ、一本立ちした。年季が入った道具以上にその腕には確かな技術が刻まれている。

親方を支えるのが長男の正さん（53）。父の背中を見て18歳から福生市の建築会社で7年ほど修業した。その後は父子で仕事を請負、戸建て住宅の新築やリフォーム工事、地元の公共施設などの建設に関わってきた。

現場では息の合った作業で、工事を進めるが、互いに職人。仕事のことでは時には言い争うこともある。

大工仕事の遣り甲斐を尋ねると「それは自分で納得でき、施主さんに喜んでもらえたとき」とうなづく。手を抜かない誠実な仕事。施主にとって何よりうれしい仕事ぶりが父子の背中を見ると感じられる。

萩原燃料 秋川住宅設備 照久さん、利信さん兄弟

電気、ガス 上下水道 快適な生活提供

阿吽の呼吸で作業する萩原照久さん（左）、利信さん兄弟

工事現場で花を咲かす「兄弟船」ならぬ〝兄弟職人〟がいる。ガス、上下水道、電気。生活に欠かせない設備全般を請負う。

兄弟はあきる野市秋川にある㈲萩原燃料・秋川住宅設備の萩原照久さん（45）と利信さん（39）。父親の勇次さんが創業し55年になる会社を継承。地域に密着し、しっかりとした自社施工、アフターサービスで信頼を得ている。

照久さんは1年間、複数の建設会社で研修させてもらい、家業を継いだ。19歳の時だ。利信さんも20歳から兄の背中を追った。役割分担をしているわけではないが、現場では主に照久さんが水道やガス、利信さんが電気関係を率先して担う。阿吽の呼吸で作業をこなしている。

照久さんは「弟は研究熱心で新しいものにすぐに対応できるよう努力しています」、利信さんは「兄は昔気質でお客さんへの礼節を大事にしているので、任せて安心」と互いを認め合っている。

新しい製品が次々に出て、顧客のニーズも変わるが、「お客さんにとってより良い提案をして、生活が快適になり、喜んでもらえるのが遣り甲斐」と2人は顔を見合わせた。

内装全般　富田さん、本橋さん父子

のり付けなど職人技が決め手

建築現場で、天井、壁、床などの内装全般の仕事を手掛けるのが、富田孝之さん（69）と富田さんの次男の本橋俊さん（37）。富田さんが羽村市でインテリア富田、本橋さんが昭島市でエスエーインテリアの看板をそれぞれ掲げ協力関係にある。

富田さんは18歳の頃、就職先で迷っていた時、兄に「カーテン屋をやるか」と声をかけられ、「カーテン屋なら店番で楽だと」と気楽に出かけると、いきなり建設現場に立たされた。以来、半世紀余り内装業の道を歩んできた。

初めの10年間は下積み。親方の「ごまかしはするな」を教訓に、結婚を機に28歳で独立。前向きに取り組む中で、クロス張り、クッションフロア、絨毯、フロアタイル等の仕上げに腕を磨いてきた。

材料は半世紀の間に素材もデザインも大きく進歩した。それでものり付けなど肝心なのは職人業が決め手となる。「正確で早い仕事はやはり真面目にコツコツ取り組み、慣れることが大事」と自分の道を振り返る。

「仕事ではいい相棒」と話す父と子

本橋さんは美容師をしていたが、休みの日に富田さんの仕事を手伝うようになり、内装業の面白さを知った。この道11年、富田さんのキャリアに比べれば5分の1だが、ハウスメーカーで仕事した分、下地作りなどで富田さんが一目置く技術を持っている。

「施主に喜んでもらえるよう最善を尽くす」がモットー。美容師の経験を生かし、センスの良いおしゃれな店舗作りなどにも幅を広げている。

父子はそれぞれ「仕事ではいい相棒だな」とポツリ。顔を見合わせて笑った。

雑貨・ギフト・生地
CottonClub
コットンクラブ
営業日 月曜日～土曜日　Open 10:30 - Close 18:00
〒205-0002 東京都羽村市栄町1丁目12－4　TEL 042-579-1068

印刷・デザイン制作・ホームページ制作　Bikoh Printing Design
企画からデザイン、印刷まで一貫して行えます。
創造をカタチに
美光印刷株式会社
〒198-0024 東京都青梅市新町 9-2183-5
Tel.0428-30-5433　Fax.0428-31-2680
Mail.bikoh306@css-office.com 担当：加羽澤（かばさわ）
https://bikoh.tokyo/